

# 留 学 報 告 書

記入日:2014年11月4日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部電気電子生命学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学デービス校 現地言語: University of California, Davis
留学期間	2013年9月～2014年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2014年7月28日
明治大学卒業予定年	2016年3月
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬～12月上旬 2学期:1月上旬～3月下旬 3学期:4月上旬～6月上旬
学生数	約30,000人
創立年	1914年

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
授業料	17,625	1,762,500円	
宿舍費	57.00	570,000円	
食費	4,400	440,000円	
図書費	1,500	150,000円	
学用品費	100	10,000円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	2,000	200,000円	形態:
渡航旅費	2,000	200,000円	
雑費		円	
<b>合計</b>	<b>33,325</b>	<b>3,332,500円</b>	

## 渡航関連

渡航経路:羽田-サンフランシスコ

渡航費用

チケットの種類 オープンチケット

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 20万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

アフィニティラベル

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

ホームステイ⇒ルームシェア

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数8人)

3)住居を探した方法:

友人の紹介

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

初めは英語に慣れるためにホームステイが効果的。慣れてきたら、仲良しの外国人の友達とシェアをしてみても?

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友達や留学先のアドバイザー

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

友達との情報交換、キャンパスの掲示板

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

かなり快適にインターネットに接続できた。困ることは一度もなかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

chase bankの口座を作り、親からそこに送金してもらっていた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

## 進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

恥ずかしながら、積極的に言葉を話すこと。独立心を持って、自分のことは全て自分でやること。日本語に頼らないこと。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません (理由: 全く自分の専攻に関係のない分野だから)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Severe and Unusual Weather	天候学
科目設置学部・研究科	
履修期間	winter quarter
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と討論(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が3回
担当教授	
授業内容	日常でおこる異常気象現象を物理と化学で解析していく
試験・課題など	homework x4, mid-term, final
感想を自由記入	非常に具体的な現象を扱うことができた上、論理的に解析できたので、一つの知識として将来役に立つと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Statistics	統計学
科目設置学部・研究科	
履修期間	winter and spring quarter
単位数	8
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と討論(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が4回
担当教授	Lang, David
授業内容	winter quarter では基礎。spring quarter では応用を学んだ。
試験・課題など	それぞれ、homework on everyweek, group project, mid-term x2, final
感想を自由記入	非常に難しい内容だった。しかし、理系である以上統計学はとても重要なものなので、今となっては本当に履修してよかったと思っている。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Linguistics	言語学
科目設置学部・研究科	
履修期間	fall
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と討論(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が1回
担当教授	
授業内容	留学生同士の異文化交流と英語の練習。私のプログラム GSP でかつ、英語の語学学校からスタートしたものは、必ずこれを履修しなければならなかった。
試験・課題など	特になし
感想を自由記入	この場でかなり英語の力が伸びた。他の国の人と自分の文化について話し合うことで、互いの国民性を尊重し合うようになった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Politics	政治学
科目設置学部・研究科	
履修期間	winter
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と討論(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が4回
担当教授	
授業内容	国際的な政治情勢をどのように分析し、新たな解決案を出していくか、ということについて、討論の中で実際に今世界で起きている事例を題材に考えていく。
試験・課題など	mid-term, mid-term paper, final
感想を自由記入	この場では、完全に圧倒された。全くついていけなかった。だからTAのoffice hourに何度も行き、授業内容についてひたすら毎日復習していた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Environmental Science and Policy	都市環境工学
科目設置学部・研究科	
履修期間	spring
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と討論(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が4回
担当教授	
授業内容	californiaの都市開発の方法、決定プロセス、環境への影響を実際の統計データから分析し、代替案を提案していく。
試験・課題など	homework x5, paper x2, mid-term, final
感想を自由記入	この授業のおかげで、自分の将来やりたいことが明確になった。自分の専攻との関連性も見いだせたので、これを基にこれからの自分の進路について考えるきっかけとなった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American study	アメリカの文化について
科目設置学部・研究科	
履修期間	spring
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と討論(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が1回
担当教授	
授業内容	アメリカの文化、スポーツなどについて、今実際にニュースなどで話題になっているものを題材として取り上げ、留学生同士でそれについて考えていく。
試験・課題など	特になし
感想を自由記入	この授業は英語の練習として考えていた。仲良しの友達と共にとっていたので、お互いに遠慮することなく、普段の生活では話題にならないことについて真剣に語り合うことができた。

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>	<b>履修した授業科目名(日本語):</b>
Biology	生命学
<b>科目設置学部・研究科</b>	
<b>履修期間</b>	spring
<b>単位数</b>	3
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
<b>授業形態</b>	講義(チュートリアル, 講義形式等)
<b>授業時間数</b>	1週間に60分が3回
<b>担当教授</b>	
<b>授業内容</b>	薬物中毒、アルコール中毒のメカニズムと、物質について
<b>試験・課題など</b>	mid-term x3, final
<b>感想を自由記入</b>	薬物中毒やアルコール中毒を促す物質に関して、生体学や科学的なアプローチで分析した結果、非常に納得の行く答えが得られ、日常生活において、食品の材料や薬の効能や、そのときの体調まで、細かく意識するようになった。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2013年 1月～3月	英語を話す環境に身を置く ホテルのバイト
4月～7月	留学準備 UCDの方と直接連絡をとり、手続きを進めた
8月～9月	渡米 オリエンテーション クラス分けテスト(語学学校)
10月～12月	fall quarter 中間試験、期末試験 TOEFLを一発でパスし、1月からキャンパスの授業に参加
2014年 1月～3月	winter quarter 中間試験、期末試験、日々の課題
4月～7月	spring quarter 中間試験、期末試験、日々の課題 帰国準備 チケット予約 帰国
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	正直なところ、留学を決意した大きな理由は日本が嫌で嫌で仕方がなかったからです。一方で、アメリカのドラマや映画を見ると、知り合いであろうとなかろうと人間関係がかなり充実しているように見え、そのような心温まる海外特有の人間関係に憧れを抱いたというのが留学を志した正直な理由です。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	自分で物事を考え、自分の意見をためらわずに主張するというのを渡米前に準備しました。アメリカの大学では discussion が盛んであり、そこでは活発な意見交換がなされることを知っていたからです。後悔していることは、もっと早い段階、高校生や大学 1 年 2 年の頃から取り組むべきだったということです。知識も思考力も、小さい時からそういう教育を受けてきたアメリカの学生には敵わなかったです。
この留学先を選んだ理由	人間関係に関してはカリフォルニアが一番オープンな地域だからです。自由を強調するアメリカの中でも、カリフォルニアは群を抜いて個人の意見を尊重する地域でした。温かい人間関係があつてこそ、アメリカの中で経済的にも人口的にも一番大きな州であるのだと留学を通して実感しました。
大学・学生の雰囲気	学生が勉強したいと思える環境が完璧に整備されていました。ジム、コーヒーショップ、広い芝生、office hour、学生と教授間での email の有効活用。学生一人一人もかなり勉強に熱心なので、勉強することが苦になるどころか、もっと勉強したい、知識をつけたいと思えるような大学でした。あと、facebook を通して毎週のように学生主催のイベントが開かれるという点でも、学ぶにも遊ぶにも最高の環境が整っていました。日本の大学では見られない光景ばかりでした。
寮の雰囲気	寮には入っていませんでした。
交友関係	ブラジル人のグループにいつの間にか入っていました。その中にはアメリカ人も何人かいたので、一年を通して日本語を話す機会がほとんどなかったです。そのおかげで、自分の英語コミュニケーション能力は飛躍的に向上し、留学後半は discussion でも自分の意見をしっかり述べられるようになり、周りのブラジル人からもアメリカ人からも自分の英語をほめてもらえるようになりました。今後は時間がある限り、その親友たちの元へ旅行したいと思っています。自分はカリフォルニアで本当に大切な親友に出会うことができました。
困ったこと、大変だったこと	毎日が楽しく充実していたので、大変だと感じたことも、困ったと感じたことも一度もありませんでした。あつたのかもしれませんが、いつの間にか乗り越えていたので、特にそのように感じたことはありません。
学習内容・勉強について	自分が明治では決して履修できない科目を履修しようと最初から決めていました。それは政治学、統計学、薬物工学、都市環境工学です。これらはかなり互いに相関性が高い科目同士であったので、一年を通して最終的に都市工学に関する一貫した考え方を取得できました。
課題・試験について	基本的には自分一人の力でやり遂げるように心がけていました。しかし第二言語で無知の分野を勉強するとなると、どうしてもわからないところが出てきました。そのときは恥ずかしながら、隣に座っている人などに話しかけて一緒に勉強してもらうように頼んでいました。その中で、専門的な英語での会話も身に付きました。テスト勉強時が一番英語の力は伸びたと思います。
大学外の活動について	ずっと憧れていたカリフォルニアなので、カリフォルニアの名所はすべて回ろうと決めていました。ブラジル人の親友たちとたくさんの旅行をして、現地の人も出会い、かなり充実した旅行を一年を通してしてきました。思っていた通り、カリフォルニアの人間関係はとても温かく、旅行を通して、自分が憧れ続けてきたものに触れることができ、人間としての厚みが増したと確信しています。
留学を志す人へ	留学に限らず、やりたいことをやれば良いと思います。もちろんやりたいことをやるためには、それに向けた事前の努力はかなりしなければなりません。しかしその努力の結果、やりたいことができる環境に自分の身が置かれた時、自分の取り組みの生産性が向上し、これからの目標や、夢、そして何よりも、これからの人生において自分の揺るぎない軸を見つけることができると思います。まとめると、やりたいことに向かって必死に努力を続けることが大切だということです。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業		授業		授業		勉強
							勉強
午後	discussion	授業	discussion	授業			勉強
				discussion			勉強
夕刻	勉強	勉強	勉強	勉強	パーティ	パーティ	勉強
夜	勉強	勉強	勉強	勉強	パーティ	パーティ	